8月10日は「道の日」

道路ニュース

THE ROAD NEWS No. 561
平成２８年８月号

発行所 全国道路利用者会議
〒100-0013
東京都千代田区霞ヶ関3-3-1
尚友会館6階
電話　03-3501-5611㈹
発行人　和田　浩
定価　20 円（会員の購読料は会費に含む）

8月は「道路ふれあい月間」

国土交通省では、道路を利用する国民の方々に、道路とふれあい、道路の役割や重要性を改めて認識してもらうために、8月10日を「道の日」に定めるとともに、8月を「道路ふれあい月間」として、地域住民と協調した道路清掃や小学生の参加する道路施設見学会等の様々な取組を行っている。

【「三陸沿岸道路」現場探検ツアー】

気仙沼市と仙台河川国道事務所（宮城県）では、8月2日（火）に、夏休みの思い出に、親子で工事現場を見学・体験する「三陸沿岸道路」現場探検ツアーが開催された。

このツアーでは、現在着々と工事が進んでいる三陸沿岸道路の県境トンネル（仮称）や気仙沼湾横断橋（仮称）の工事現場などを見学・体験した。

【「道路の老朽化対策」に関するパネル展】

甲府河川国道事務所（山梨県）では、8月1日(月)から8月17日（水）の間、JR甲府駅の北口ペデストリアンデッキにおいて「道路の老朽化対策」に関するパネル展が開催された。

現在、国土交通省が「道路メンテナンス総力戦」を掲げて安全な道路の管理を進めていること知ってもらうため、老朽化の現状と対策の取り組みについてのパネルが展示された。

【新潟まつりで道路ふれあいコーナーを開催】

新潟国道事務所（新潟県）では、8月6日（土）と8月7日（日）の両日、新潟まつりのお祭り広場内において、道路ふれあいコーナーを設けた。

道路ふれあいコーナーでは、パネル、歩道除雪車の展示・乗車、降雨体験装置などの展示を行った。

【「オオハンゴンソウ」の防除】

高山国道事務所（岐阜県）では、8月2日（火）に、生態系被害防止外来種リストに掲載されている特定外来生物の「オオハンゴンソウ」の防除を飛騨高山高校の生徒と共に行った。

今回で4回目となり、オオハンゴンソウの種子の繁殖を防ぐため7月から8月に実施した。

【開通1周年の利用促進記念イベント】

紀勢自動車道利用促進実行委員会（和歌山県）では、7月3日（日）から10月1日（土）の間、「道の駅すさみ」において昨年開通した紀勢自動車道（南紀田辺～すさみ南）の1周年を記念してイベントを開催している。

国土交通省のブースでは、アーチ橋体験や特殊車の展示などを行っている。

【玉島・笠岡道路親子工事見学隊】

岡山国道事務所（岡山県）では、8月6日（土）に、現在、整備を進めている玉島・笠岡道路において、小学生とその保護者を対象に「玉島・笠岡道路親子工事見学隊」と称し、道路工事見学会が開催された。

【小学生の『1日国道出張所長』】

大洲河川国道事務所（愛媛県）では、8月5日(金)に、道路管理の役割及び重要性を広く理解してもらうため、小学生を対象に、『1日国道出張所長』のイベントが開催された。

CCTV（道路管理用カメラ）の説明を受け、画像を見たり、災害対策用機械等の見学や乗車体験が行われた。

【白川公園をメインに道路一斉清掃】

道路ふれあい月間行事実行委員会（熊本県）では、8月10日（水）に、白川公園をメイン会場として、熊本県内各所で約5，000名の方が参加し道路の一斉清掃が行われた。

新潟まつりの道路ふれあいコーナー
歩道除雪車の展示・乗車

開通1周年の利用促進記念イベント
国土交通省ブースで特殊車を展示

玉島・笠岡道路親子工事見学隊
大型クレーンを使って橋を架ける工事（昨年の様子）

平成２８年８月１１日(木)　１５時
新名神高速道路　四日市ＪＣＴ～新四日市ＪＣＴ
東海環状自動車道　新四日市ＪＣＴ～東員ＩＣ　開通
～地域間交流や企業活動を支援するストック効果に期待～

国土交通省中部地方整備局とNEXCO中日本が事業を進めてきた、新名神高速道路の四日市ＪＣＴから新四日市ＪＣＴと東海環状自動車道の新四日市ＪＣＴから東員ＩＣが8月11日（木）に開通した。

今回の開通により、港湾への所要時間短縮、立地企業の輸送における生産性向上、沿線地域の開発支援などが期待される。

さらに、新東名高速道路・東海環状自動車道では、今後も開通を予定しており、更なる高速道路ネットワークの広がりにより、中部圏のものづくり産業を支援するとしている。

【開通日】
平成28年8月11日（木）15時

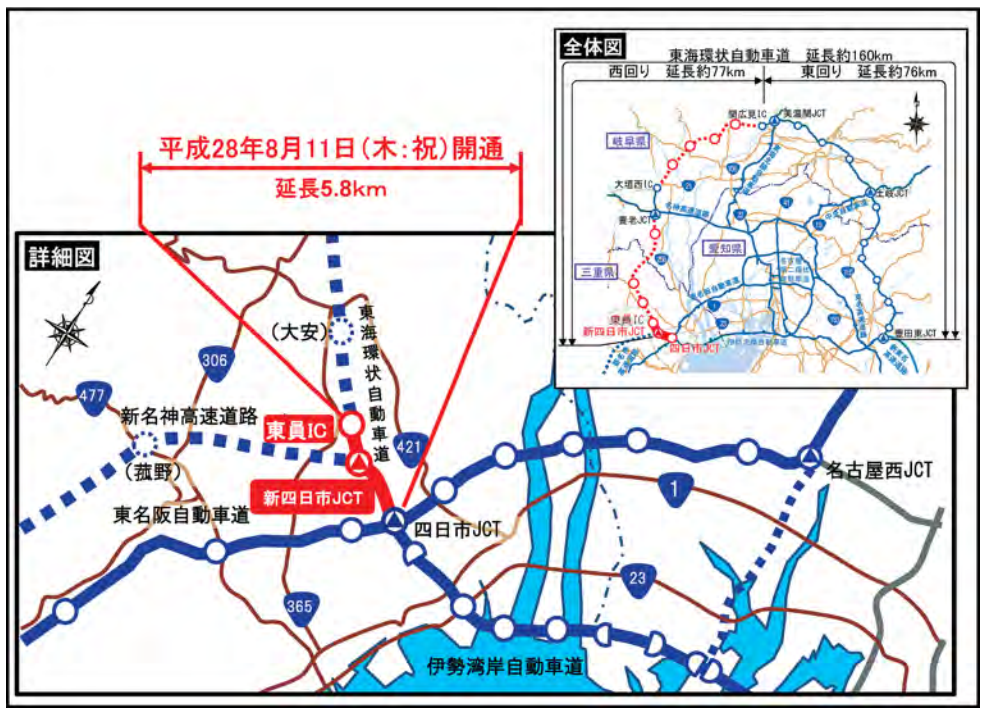
【開通区間】
新名神高速道路（四日市ＪＣＴ～新四日市ＪＣＴ）／4・4㎞
東海環状自動車道（新四日市ＪＣＴ～東員ＩＣ）／1・4㎞

【開通効果】

①港湾への所要時間短縮
いなべ市内には多くの企業が立地する工業用地が集積している。以前に開通した伊勢湾岸道により、いなべ市内の産業集積地から名古屋港及び四日市港までの所要時間が60分以内に改善していたが、今回の開通によりさらに約20分短縮されることになる。

②立地企業の輸送における生産性向上
大安ＩＣ周辺に立地する会社では、岐阜方面、名古屋・三河方面に毎日多くの物流車両で完成車や部品を輸送していたが、今回の開通により三河方面の輸送の所要時間が短縮され、輸送における生産性向上への寄与・物流コストの削減が期待される。

③沿線地域の開発支援
新名神高速道路・東海環状沿線地域では、高速道路ＩＣからの利便性が向上することから、平成9年の工事着手から現在までに、新たな工業団地の立地による開発拡充が確認できる。今回の開通により、さらなる沿線地域の開発拡充により、地域経済活性化が期待される。



開通区間の位置図・状況

海老名JCT圏央道内回り東名方面
ランプウェイの暫定2車線化で運用開始

NEXCO中日本は、7月15日から、圏央道八王子方面から東名高速道路方面に向かうランプ付近で発生する渋滞の緩和を目指し、ランプウェイの2車線化および本線部の1車線化（一部）による運用（暫定）を開始した。

ランプウェイを2車線にすることで、上り坂を先頭とする渋滞の緩和、さらに圏央道本線を1車線にすることで安全性の確保も期待される。

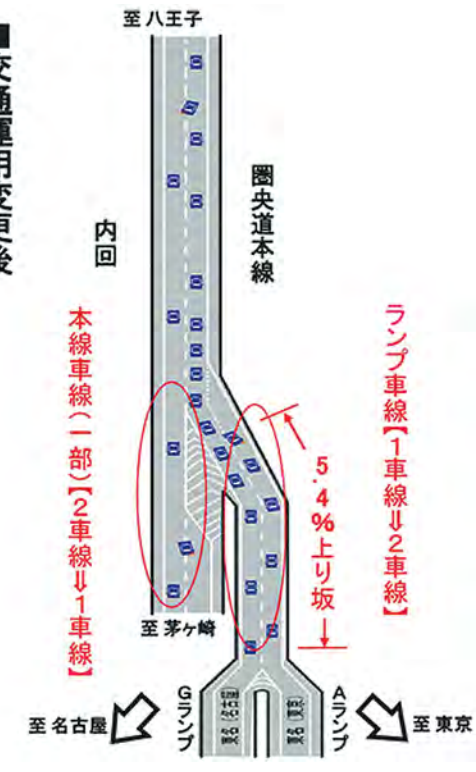
【安全・道路案内対策】

▽分流部からの速度抑制対策（速度超過対策）としてゼブラカラー舗装、全面カラー舗装及び導流レーンマークを実施。ランプ部（暫定2車線区間）は40㎞／hに規制する。

▽分岐部の行先方向を明確にするため、茅ヶ崎方面は右車線の利用を促す横断幕による掲示、案内標識における矢印を下向き（車線指定）に変更している。また、東名方面においても東京方面を青色、名古屋・小田原厚木道路方面を赤色で路面標示した。

▽分岐部において、案内標記と路面標示の行き先ごとに連携したカラー化をおこない、利用者に分かり易くしている。

■交通運用変更後



平成28年度
「道路ふれあい月間」
推進標語
『道きれい　そんな所は　人きれい』

“道路総合システムサービス”企業
NICHIREKI
ニチレキ株式会社
東京都千代田区九段北4-3-29　TEL 03(3265)1511代表